

第7回災害対策本部会議における 知事コメント

このたびの地震により、新たに1名の尊い命が失われました。深い悲しみを覚えますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。ご遺族の皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。

今回の地震の発生から、3日目となります。病院間搬送の完了などには感謝申し上げます。今後、DMAT や日赤などの皆様には、避難所の見回りや環境確保に際し、現場に行つてのご助言をよろしくお願いいたします。

昨日、高市総理から熊本県庁に政府現地対策本部の設置の表明についての話をさせていただきましたが、それ以外にも、必要な物資の確保、電力・水道等のインフラの復旧への取組み、水の供給をはじめとしたプッシュ型支援の強化などについて総理から直接指示があったところでございます。

熊本県におきましても、今、被災者のニーズが最も高い「水」への支援をさらに強化したいと考えています。これまで、避難所や医療機関など、各分野で個別に調整を行っていた給水について、国土交通省のご協力を得て、全体調整を行う「給水支援本部」を昨晚立ち上げ、既に今朝8時半にもミーティングを開催しました。

この給水支援本部で、分野ごとの過不足を横断的に解消するとともに、翌日以降の水の配送計画を合同で策定し、よりきめ細かに、より確実な給水体制を構築したいと考えています。

もう1点、被災者のニーズが高いのは、安心できる環境での「入浴」や「睡眠」です。

陸上自衛隊からご報告がありましたように、10年前の熊本地震などでも実施いただいた「入浴支援」について、自衛隊の皆様のご協力により、本日夕刻から熊本市南区城南町で開始されるとの嬉しい情報がありました。現地での水の調達など課題も多いので、一気に広がることは難しいですが、自衛隊の更なるご協力をよろしくお願いいたします。ホテル避難、宿泊支援の準備が整いつつあるとの報告がありました。具体的にどうやって申し込むのか等についての具体的な整理を早急に進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

各部局においては、被災された方々が1日も早く日常の生活に戻れるよう、「できることはすべてやる」との覚悟で、国や各市町村、関係機関とより一層連携を強化し、ニーズを先読みした対応をお願いいたします。本日16時からの次回対策本部からは、国の現地対策本部との合同会議をさせていただきます。10年前の連携を彷彿とさせるチームが迅速に動き出します。

その前に、本日も、身体に十分気を付けながら現地へ出向いて全力での救出をどうぞよろしくお願いいたします。